

## 2. 11ヒロシマ集会 アピール（案）

2月11日は、「建国記念の日」とされています。この日は、神話をもとに明治政府が制定し、侵略戦争を美化するための道具としてきた「紀元節」にあたります。かつて日本は、皇国史観のもと、アジア・太平洋の国々に侵略し、植民地支配の不当な犠牲を強いてきました。そのような歴史背景にもかかわらず、1966年に当時の政府・自民党が各界の反対を押し切り、2月11日を「建国記念の日」としました。2015年で49回目となります。

以来、私たちは紀元節復活に反対し、戦争賛美の日であったこの日を、日本と日本人の平和と人権に関わる歴史認識を問う、平和と民主主義・人権発信の日に変えるために、毎年、集会・行動を行っています。

安倍政権は、昨年暮れの衆院総選挙での「勝利」をテコに、戦争する国づくりから憲法改悪へと、ますます暴走の勢いを強めようとしています。そのために秘密保護法を強引に制定・施行し、武器輸出を促進し、防衛予算を急増させ、沖縄・辺野古への新基地建設を強行し、集団的自衛権の行使など海外で戦争することを「合憲」とする憲法違反の閣議決定を行い、日米防衛ガイドラインを改定し、戦争関連法案を国会に提出しようとしています。さらに安倍首相は、明文改憲をめざすと明言しています。また、一方で東アジアでの対立の柱になっている歴史認識問題では、「戦後70年の安倍談話」を発表するため有識者会議を3月にも召集することを発表しました。

私たちは、このような政治と対峙し、憲法理念の実現・戦争をさせない運動を築くため、広範な市民連帯のもとで「戦争をさせない1000人委員会」の運動を進めてきました。今年は戦後70年、平和国家として歩んできた歴史的な節目の年です。

70年にわたり平和を守ってきた誇りをもち、平和と民主主義、人権の尊重される社会を築くため、平和憲法を守り、活かすこと、そして、戦争加害国の国民としての重責と被爆地ヒロシマの被った惨禍を忘れることなく歴史と向きあい、アジア諸国を中心とする諸外国との協調・和解を進めることに全力をあげます。

再び過ちを繰り返さないために、戦争につながる一切の動きを許さない運動を「被爆地ヒロシマ」から発信していくことをあらためて誓い、集会のアピールとします。

2015年2月11日

紀元節復活反対！平和・民主主義・人権を守る2.11ヒロシマ集会